

課題

① **地域の実情に応じた地域公共交通手段・形態の検討とネットワークの確保・持続**
 ・今後も人口減少や高齢者の増加が見込まれる中、市民の移動ニーズや地域の実情等を踏まえ、あらゆる既存交通資源の活用を検討し、公共交通ネットワークを形成することが必要です。

② **利用しやすい地域公共交通サービスの提供**
 ・市民等の日常生活では公共交通を利用した外出が少ない状況です。
 ・日々のおでかけで公共交通を利用して外出できるように、不足や不便な点を改善することが必要です。

③ **わかりやすい公共交通情報の発信、使いやすさの向上**
 ・市民や来訪者の視点から、公共交通を利用する際に必要となる運行情報をわかりやすく提供することや、使いやすい環境の提供が必要です。

④ **市民全体で公共交通を支える機運の醸成、外出スタイルの変容**
 ・公共交通の利用頻度、認知度が低く、クルマを利用する人が大半になっています。
 ・過度なクルマ依存の見直し、市民全体で公共交通を支える意識の醸成を促すことが必要です。

⑤ **まちの賑わい創出に貢献する地域公共交通サービスの提供**
 ・公共交通による来訪や回遊を促し、まちなかの活性化に貢献することが必要です。

基本理念	基本方針	目標を達成するための事業	具体例	対応する課題
------	------	--------------	-----	--------

まちを育み、暮らしを支える公共交通	1.みんなで支え育む公共交通ネットワークの実現 >> 課題①④	《プロジェクト：ネットワークの効率的な確保》					
		バス	1	新規	コミュニティバスの運行形態見直し検討	・市民の移動ニーズに応じたコミュニティバス路線・時間帯等の運行方法・形態の見直しの検討 ・バスの営業外収入事業の検討 等	①
		バス	2	継続	公共交通と送迎バス等の連携検討	スクールバス、企業送迎バス等と外出ニーズが重なっている地域における効率的な運行体系の検討など	①
		《プロジェクト：市民意識の醸成・行動スタイルの変容》					
		バス 電車 タクシー	3	拡充	モビリティマネジメント（※）の展開 （※過度に自動車に頼る状態から、公共交通や自転車などをかきこく使う方向へ転換することを促す一連の取組み）	おぼせんサポーター、出前講座、バスお試し乗車体験会、企業への通勤利用の呼びかけ（大手企業の月1回利用運動等）、小学生等の乗車マナー意識啓発、バスフリーデーの検討、ボランティアによる美化活動等	④
		あらゆる	4	新規	居住地を細かく回る新たな移動サービスの導入検討 （地域主体で考えるサービス）	・細かくバス停を設置するデマンドバス（※）の運行検討 ・地域で支え合う共助型の送迎サービスの検討（地域主体で考える機会を通じた意識の醸成） ・AIやIoTの活用等の検討 等 （※利用者の事前予約に応じる形で運行経路や運行スケジュールを合わせて運行するバス）	① ② ③ ④ ⑤
	バス 電車 タクシー	5	拡充	公共交通機関利用促進事業の実施	高校生等の通学助成、JR小浜線利用促進助成、おぼせんサポーター向け助成等	② ④	
	バス タクシー	6	継続	高齢者免許自主返納者への支援	高齢者免許自主返納者へのあいあいバス乗車券やタクシーチケットの交付などの支援の実施	② ④ ⑤	
	《プロジェクト：補完的な交通手段の提供》						
	あらゆる	4 (再掲)	新規	居住地を細かく回る新たな移動サービスの導入検討（再掲）	・細かくバス停を設置するデマンドバスの運行検討 ・地域で支え合う共助型の送迎サービスの検討（地域主体で考える機会を通じた意識の醸成） ・AIやIoTの活用等の検討等	① ② ③ ④ ⑤	
	バス	7	新規	市街地循環バスの導入検討	市街地中心エリアで、駅や病院、店舗などを循環するバスの導入検討	② ⑤	
	バス タクシー	6 (再掲)	継続	高齢者免許自主返納者への支援（再掲）	高齢者免許自主返納者へのあいあいバス乗車券やタクシーチケットの交付などの支援の実施	② ④ ⑤	
	《プロジェクト：拠点等の利用環境の充実》						
	バス 電車	8	継続	パーク&ライドで公共交通利用の推進	小浜線利用者に対する駅前駐車場の提供による利便性向上	②	
	バス 電車	9	継続	乗継しやすいダイヤの設定と周知	・乗継利用者に配慮したバスと鉄道の乗り継ぎの改善 ・乗継時刻表の作成 等	②	
	バス 電車 タクシー	10	拡充	利用しやすい待ち環境の充実	・駅舎内や病院・店舗等の施設内での公共交通情報の提供 ・待合環境の改善 等	② ③ ④	
	《プロジェクト：公共交通全体のわかりやすさの向上》						
	バス 電車	11	拡充	わかりやすい公共交通情報の発信	行先・最寄り施設・ダイヤがわかりやすい公共交通マップの改善など	③	
	あらゆる	12	新規	施設と連携した公共交通案内の充実	駅、病院、観光案内所等が連携して公共交通を使ったおでかけ情報の発信	③ ④	
《プロジェクト：公共交通全体の使いやすさの向上（動機づけとなるような使いやすい環境）》							
バス タクシー	13	新規	使いやすい料金プランの検討	・定期や回数券、特別乗車券など利用者・運営主体双方にとって望ましい料金プランの検討 ・料金体系の見直し検討 等	② ③		
あらゆる	14	継続	誰でも安心・安全に利用できる乗り場等の環境・サービスの提供	駅舎などのバリアフリー化の働きかけ、障がい者福祉タクシーの助成実施、Wifi設置検討、高齢者向けマイ時刻表の作成など	② ③		
《プロジェクト：本市への来訪・市内回遊手段の提供》							
バス	7 (再掲)	新規	市街地循環バスの導入検討	市街地中心エリアで、駅や病院、店舗などを循環するバスの導入検討	② ⑤		
あらゆる	15	継続	観光資源を活かした周遊バス・観光タクシーの運行	市街地観光施設を周遊するバスや寺社仏閣を巡る観光タクシー等の運行、レンタサイクル等	⑤		
電車	16	拡充	観光列車・イベント列車等の運行	観光列車やイベント列車、サイクルトレイン（※）など、事業者との相互連携によるJR小浜線の観光利用を促進する事業の検討 （※自転車を鉄道車両内に解体せずに持ち込むことができるサービス）	⑤		
《プロジェクト：来訪・市内回遊を促すソフト施策》							
あらゆる	17	拡充	施設と連携した魅力的なイベント等の開催	イベントや観光施設等と連携した企画切符、特典の実施、イベント時の臨時バスの運行検討など	④ ⑤		
あらゆる	18	新規	キャッシュレス化の推進	交通系ICカード等のキャッシュレス化の推進とICカードによる割引・特典等の検討	② ⑤		
あらゆる	19	新規	MaaSや自動運転等の調査・研究	複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを適切に組み合わせて検索・予約・決済等を行うサービスや、自動運転技術などについて調査・研究	② ⑤		

目標（指標）	対応する基本方針
--------	----------

公共交通利用者数の確保 主に方針1

・市内の主要な鉄道駅の乗車人員計
・あいあいバス利用者数

公共交通に対する市民意識等の変容 主に方針1

・モビリティマネジメントに関するイベント開催件数

公共交通を利用したお出かけの増加 主に方針2

・あいあいバスの利用経験がない人の割合

公共交通の認知度・満足度の向上 主に方針3

・小浜市内の公共交通（電車・バス等）に対する満足度
・あいあいバスの認知度

まちなかの賑わい向上と公共交通の連携 主に方針4

・施設と連携したイベントや臨時バス等の開催件数
・小浜駅の乗車人員

今後のスケジュール（予定）

- R4 年 2 月 3 日 第 3 回小浜市地域公共交通会議
○小浜市地域公共交通計画骨子案の承認
- R4 年 3 月 10 日 第 4 回小浜市地域公共交通会議
○小浜市地域公共交通計画素案の承認
- R4 年 3 月中 小浜市地域公共交通計画案の作成
- R4 年 4 月～ パブリックコメント
- R4 年 6 月～ 第 1 回小浜市地域公共交通会議
○小浜市地域公共交通計画の承認→計画策定

策定後は、小浜市地域公共交通会議で計画の評価・検証及び改善にかかる検討・実施を行う。